

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		放課後等デイサービス ふるさとの森 ひろば				公表日	令和 8年 2月 20日
環境・体制整備	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・新たに建物を増築したことで長期休み等、児童発達支援事業所と分かれて過ごすことができるようになった。	・利用人数にもよるが1日に15人利用されるときは、場所を広く使っても人員配置に困ることがある。(車椅子、バギーを使用されるお子様もいるため)	
2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。		○	・学校から事業所に到着したあとや職員の突発的な休み等が入った際、他事業所職員にサポートに入ってもらっている。	・長期休暇時等、職員が手薄になる時間帯もあるため短時間勤務者や短期の協力者等を検討したい。		
3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・写真やイラストを貼る等して視覚支援を行っている。	・建物が増築されたが一部バリアフリー化されていない箇所もあるため、利用児が使いやすいように改善していきたい。		
4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・サービス提供時間後に必ず清掃や備品等の消毒を行い、清潔に保てるよう取り組んでいる。			
5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・音が苦手な利用児や情緒が不安定になった利用児等、状況に応じて個別の部屋等を使用できるようになっている。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・法人会議や事業所間会議等を実施することで取り組んでいる。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・昨年度頂戴したご要望をもとにの玄関前の屋根設置、福祉車両の整備等を実施することができしており、可能な限り改善に繋げている。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・日々のミーティングのなかで各職員の意見を吸い上げ、事業所間会議、法人全体の運営会議等で意見を挙げて改善できるように繋げている。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・法人の第三者委員が来園されて、支援現場のを視察していただいている。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・法人内での内部研修、虐待、身体拘束、発達支援に関する研修会等、各職員が研修に参加できるよう機会を設けている。	・長期休み等に計画されている研修への参加は難しい。	
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・作成して、公表を行っている。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		・アセスメントシートを用いたり、保護者からいただいた情報を用いて定期的に職員間で検討し、ニーズや課題に沿った計画を作成するよう努めている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・保護者の方への聞き取りや職員間で検討する場を定期的に設けてニーズや課題に沿った計画を作成するよう努めている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・ミーティングや事業所間会議等の場で職員間で共有し合い、日頃の支援を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・関係機関に助言をいただいたツールを用いながらアセスメントを行っている。		
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・アセスメントや現状に応じて5領域等を踏まえながら支援内容を設定するように努めている。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・職員間で担当を替えながら行い、利用児が楽しめるよう配慮しながら立案を行っている。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		・職員間で担当を替えながら活動プログラムを計画して、利用児が楽しめるように配慮しながら行っている。		

供	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		・余暇時間や活動のなかで個別課題に取り組む機会を設けたり、集団活動にも取り組んでいただく等、支援を行っている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○		・その日の予定に合わせて時間を調整しながら必ずミーティングを行っている。また、そのなかで各自利用児の気になる様子も共有して支援に繋がられるようにしている。	・祝日開所や長期休み等は職員の勤務時間がばらけてしまい、ミーティングを行っていないため改善が必要である。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○		・送迎を終えたあとに保護者からいただいた情報を共有したり、支援内容や利用児の様子を共有できるようにしている。	・祝日開所や長期休み等は職員の勤務時間がばらけてしまうため、残った職員で振り返りを行うようにしている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○		・その日の記録者を決めて個別に記録している。その記録をアセスメント、モニタリング、支援に繋げている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○		・ミーティング時にも職員間で振り返りを行ったり、相談員とも定期的にモニタリングを行っている。また、必要時には計画の見直しもしている。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	○		・余暇時間では好きな玩具で遊んでいたたり、ゆったりする時間も設定している。また、創作活動を行って法人行事や地域イベントで作品展示を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○		・好きな玩具を選んで遊んだり、自分の取り組みたいことに取り組める時間を設けている。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		・各会議には主任や児童発達管理責任者等が参加している。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○			・学校や併用先の事業所、相談員等と情報共有を行なう等して支援を行っているが、医療機関等とは連携できていないため、支援体制を整えられるように努めたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○		・年間行事計画をいただいたり、送迎時に引き継ぎを行ったりしている。また、学校での授業風景の見学、高等部祭への参加等もさせていただいている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		・同法人内の児童発達支援事業所と情報共有を行ったり、他事業所から情報提供をいただいている。	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		・同法人内の就労支援事業所B型とは連携している。また、相談員を通して各関係機関が集まり、情報共有する場を設けている。	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○			・現在、具体的に取り組めていないため、研修を受ける機会等も設けられるよう努めたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		・同法人内の普通学校対象の放デイと法人内のイベントを通して交流の場を設けている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○		・代表者が参加している。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		・ご自宅への送迎時にその日のご様子についてお伝えするよう努めている。（排泄状況、食事摂取状況、活動取り組み時の様子等）	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		・定期的に保護者の方へ事業所内で福祉サービスについて情報提供を行う機会を設けている。	・家族支援プログラムについては実施できておらず、保護者の方が参加しやすい日程を検討していく必要がある。
関係機関や保護者との連携	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5		・契約時や担当者会議等でお伝えするようにしている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		・ご家族の意思を確認し合い、支援内容に反映できるよう努めている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		・担当者会議や面談時に計画についての説明を行って同意をいただけるように努めている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・定期的に保護者の方と話し合いを行える機会を設けている。	・定期的に保護者の方と話し合いを行える機会を設けているが、保護者の方が参加しやすい日程調整を行っていく必要がある。

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・毎年4月に保護者会を開催している。また、定期的に保護者の方向士が交流できる場や親子活動を実施して兄弟も参加できるように取り組んでいる。	
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・苦情受付の担当者を設置しており、いただいたご意見について迅速に対応できるよう努めている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・毎月事業所のおたよりを作成、配布している。また、SNS（インスタグラム）によって情報発信している。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・保護者の方に説明、承諾を得ながら個人情報の取り扱い及び保管を行っている。	
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・ジェスチャーやイラストカードでの意思疎通を図ったり、保護者の方へは事業所携帯等を用いて情報伝達を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・地域住民にも参加していただける法人行事を開催している。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・各項目に沿ったマニュアル作成を行っている。また、避難訓練では消防署立ち合いでの訓練も行っている。	・保護者への周知は不十分であるため、今後周知できるように努めたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・事業所ごとで業務継続計画（BCP）を作成し、年5回の避難訓練も実施している。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・保護者に聞き取って確認を行い、対応方法についても確認を行っている。また、薬も預かって保管している。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・保護者に食物アレルギーについて確認を行い、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・安全管理委員会の設置、安全計画の作成を行って安全管理に努めている。	・保護者への周知は不十分であるため、今後周知できるように努めたいと思います。
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			・安全確保は行っているが、保護者への周知は不十分な部分があるため、周知できるように努めたい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・毎月事業所間の会議や法人会議でヒヤリハットについて共有、再発防止に取り組んでいる。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・虐待防止に関する研修参加、動画視聴を各職員で行って防止に努めている。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		・身体拘束に関する研修参加、動画視聴を各職員で行って防止に努めている。また、保護者にも説明、了承を得るように取り組んでいる。		